

2026 年 7 月 22 日

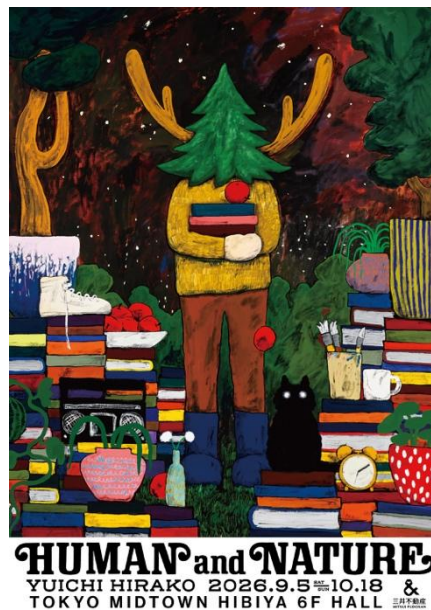
三井不動産株式会社

報道関係者各位

東京ミッドタウン日比谷ホールこけら落とし 現代美術作家・平子雄一氏による展覧会「HUMAN AND NATURE」 9月5日（土）より10月18日（日）まで開催

初公開となる新シリーズを含む約300点を展示、1階ステップ広場には大型立体作品が登場

東京ミッドタウン日比谷（東京都千代田区有楽町、主催：三井不動産株式会社）は、文化芸術・エンターテインメントとビジネスが交差する日比谷ならではの新たなイベント発信拠点として、2026 年 9 月 1 日（火）に「東京ミッドタウン日比谷 ホール」をオープンいたします。この度、オープンを記念するこけら落とし第一弾として、2026 年 9 月 5 日（土）から 10 月 18 日（日）の期間、国内外で注目を集める現代美術作家・平子雄一氏の展覧会「HUMAN AND NATURE」を開催いたします。



■都市機能、芸術文化、自然環境の融和を目指す街づくりと新ホールの役割

東京ミッドタウン日比谷は、広大な緑地に隣接する立地特性を活かし、ビジネス、芸術文化、そして自然環境が調和する都市空間の形成を目指してまいりました。これまでも、「HIBIYA BLOSSOM」をはじめ、演劇・映画の祭典「HIBIYA LIVE FESTIVAL」・「HIBIYA CINEMA FESTIVAL」といった文化的価値を創出するイベントを継続的に実施し、未来志向の新たな体験や、お客様の感性を刺激する新たな価値の提供を目指してきました。

今回のホールオープンは、日比谷を起点とした文化・ビジネスの発信および周辺地域への波及を担う、新たな拠点の創出を目的としています。こけら落としの第一弾となる本展は、人間社会と自然の関係性を一貫したテーマとして捉える平子氏の表現が、豊かな緑と都市の活気が共存する日比谷の都市ビジョンと深く共鳴することから企画されました。刷新されたイベントスペース総面積 1,200 m²超の開放的なホール空間を舞台に、自然と都市、あるいは管理と共生の境界にあるものを、空間全体を使って表現します。

■初公開となる新シリーズを含む約 300 点と、最大約 3.5m のモビール群が立ち現れる大規模なインスタレーション

本展では、空間全体を使ったインスタレーションを展開し、人と植物、あるいは都市と自然との関係性について、鑑賞者が改めて思考を深めるきっかけを生み出します。本展に向けて制作が進められている、初公開となる最大約 3.5m にも及ぶモビール群を含め、新作の絵画や立体作品など計約 300 点を展示いたします。

会場内のみならず、都会のリズムが行き交う日比谷の街にも突如として現れる、平子氏の作品の象徴である「人のような身体に植物の頭部を持つモチーフ」。ユーモアを湛えたその存在を入り口に、現代社会における人間と自然の関係性を深く問いかけます。会場内には、ゆるやかな曲線を描く木材の構造体が造形され、多様なマテリアルを用いた圧倒的な作品群が、これまでにないスケールのコントラストを浮かび上がらせます。本展は、大型のインスタレーションや絵画、初公開となる新シリーズの作品群によって、鑑賞者自身が空間そのものへと深く入り込むような感覚をもたらします。



【左】《Lost in Thought 258》2026 年 © Yuichi Hirako photo by Osamu Sakamoto

【右】《Wooden Wood 233》2026 年 / Acrylic paint on wood / H75.0 × W38.0 × D20.0 cm

■館内テナントおよび屋外インスタレーション展開

館内店舗や敷地内スペースとの連携により、本展のコンセプトを「食」や「プロダクト」へと拡張する多面的なコラボレーションを展開するほか、東京ミッドタウン日比谷のステップ広場を舞台にした、大型立体作品の屋外展示も実施いたします。

コラボレーション企画（食・プロダクト）

「I'm donut ?」 × 平子雄一 コラボレーションドーナツ

I'm donut ?

人気生ドーナツ専門店「I'm donut ?」との特別なコラボレーション。

本企画のために平子雄一氏が描き下ろした、オリジナルデザインの限定コラボボックスに入ったドーナツを販売いたします。

【販売場所】6階ホール ※各日数量限定販売となります

【ブランドサイト URL】<https://peaceput.com/brand/im-donut/>

【Instagram】<https://www.instagram.com/i.m.donut/>

「NEUTRALWORKS.」 × 平子雄一 コラボレーション T シャツ



ウェルネスブランド「NEUTRALWORKS.」の T シャツに、
平子雄一氏のアートワークをプリント。
本展でしか手に入らない特別な一着です。

【販 売 場 所】 NEUTRALWORKS. HIBIYA 東京ミッドタウン日比谷 3F

【数 量】 50 枚

【ブランドサイト URL】 <https://www.neutralworks.jp>

【Instagram】 <https://www.instagram.com/neutralworks/>

会期中イベント（ツアー・ワークショップ・トーク）

ギャラリーツアー & サイン会

平子雄一氏と本展監修の秋元雄史氏による解説ツアーと、サイン会を開催いたします。

【日時】 9 月 5 日（土）

・ 11:00～11:30 | ギャラリーツアー（1 回目）

〔対象・料金〕 定員 20 名／無料・事前予約制

〔場所〕 6 階ホール

・ 13:00～14:00 | サイン会

〔場所〕 6 階ホール

・ 15:00～15:30 | ギャラリーツアー（2 回目）

〔対象・料金〕 定員 20 名／無料・事前予約制

〔場所〕 6 階ホール

平子雄一氏によるワークショップ & サイン会

平子雄一氏による作品解説とともに展覧会場を鑑賞したあと、参加者それぞれの中にある人間・自然・植物のイメージや作品モチーフを組み合わせ、自分だけの作品を作る特別なワークショップです。

【日時】 9 月 12 日（土）

・ 11:00～12:00 | 子ども向けワークショップ

〔対象・料金〕 5 歳～中学生（未就学児は保護者同伴）／無料 ※1 枚の紙に表現

〔場所〕 9F カンファレンス ROOM6

・ 14:00～16:00 | 大人向けワークショップ

〔対象・料金〕 定員 20 名／有料（チケット代 + 3,000 円）※白紙の絵本を使用

〔場所〕 9F カンファレンス ROOM6

・ 17:00～18:00 | サイン会

〔場所〕 6 階ホール

トークセッション & サイン会

秋元雄史氏と平子雄一氏が、作品の背景にあるコンセプトや都市におけるアートの役割について多角的な議論を展開します。

【日時】9月28日（月）

・13:00～14:00 | トークセッション（秋元雄史 × 平子雄一）

〔対象・料金〕 有料（チケット代+500円）

〔場所〕 8F カンファレンス ROOM 1・2

・17:00～18:00 | サイン会

〔場所〕 6階ホール

■ アーティストプロフィール

平子 雄一（ひらこ・ゆういち）

1982年岡山生まれ、東京を拠点に活動。

2006年にイギリスのウィンブルドン・カレッジ・オブ・アートの絵画専攻を卒業する。植物や自然と人間の共存について、また、その関係性の中で浮上する曖昧さや疑問をテーマに制作を行う。観葉植物や街路樹、公園に植えられた植物など、人によってコントロールされた植物を「自然」と定義することへの違和感をきっかけに、現代社会における自然と人間との境界線を、作品制作を通して追求している。

ペインティングを中心に、ドローイングや彫刻、インスタレーション、サウンドパフォーマンスなど、表現手法は多岐にわたる。

韓国、台湾、イギリス、アメリカなど、国外でも精力的に作品を発表している。



<コメント>

高度に洗練され、効率化された大都市の中心、東京ミッドタウン日比谷。この場所で私が表現したいのは、人間中心主義によって最適化された現代において、「私たちは自然や植物とどのように接していくのか」という避けることのできない問いかけです。

多くの先進国で広く謳われる環境保護やSDGsといった記号化された題目の陰で、私たちが本当に向き合うべき「生の自然」はどこか置き去りにになっているのではないかと。私たちが癒やしを求める自然とは、実は人間の利便性のために管理された「高度にコントロールされた人工物」にすぎないのではないのでしょうか。

本展「HUMAN AND NATURE」では、常に人間の設計図の中に組み込まれてきた都市における自然の矛盾や、割り切れない境界線を提示します。高度に発達した現代社会の中心に作品を介入させることで、鑑賞者がそこに何を見出すのか。社会が規定した世界の輪郭を揺さぶる試みを、私自身とても楽しみにしています。



岡山県立美術館「瀬戸芸美術館連携プロジェクト平子雄一展 ORIGIN」2025年 展示風景

© Yuichi Hirako photo by Osamu Sakamoto

■ 企画・監修者プロフィール

秋元 雄史（あきもと・ゆうじ）

GO FOR KOGEI アーティスティックディレクター。

東京藝術大学名誉教授、金沢 21 世紀美術館特任館長、国立台南芸術大学名誉教授、美術評論家。1955 年東京生まれ。東京藝術大学美術学部卒業。1991 年から直島のアートプロジェクトに携わる。

ベネッセアートサイト直島・アーティスティックディレクター兼地中美術館館長（2004–2006 年）をはじめ金沢 21 世紀美術館館長（2007–2017 年）、東京藝術大学大学美術館館長・教授（2015–2021 年）、練馬区立美術館館長（2017–2023 年）を歴任し、GO FOR KOGEI のアーティスティックディレクターを務める。

主なプロジェクト・展覧会に、「スタンダード」「直島スタンダード 2」（直島）、「第 1–3 回金沢・世界工芸トリエンナーレ」（金沢、草屯・台湾）、「工芸未来派」（金沢、ニューヨーク・アメリカ）、「ジャポニズム 2018」の公式企画として「井上有ー 1916–1985 一書の解放ー」（パリ、アルビ・フランス）、「あるがままのアート-人知れず表現し続ける者たち-」（東京）など。著書に『アート思考』（2019 年、プレジデント社）など。



<コメント>

平子雄一が描く植物頭の人物たちは、自然を賛美する象徴でも、人間社会を批判する存在でもありません。人と自然、都市と森、現実と想像のあいだに立ち、世界を静かに見つめる「観察者」としてそこに佇みます。本展では、絵画と立体作品が一つの風景を構成し、鑑賞者はその内部を歩きながら作品と時間を共有します。物語を語るのではなく、風景を生み出すこと——平子雄一の創作の本質を体感できる展覧会です。

■ 開催概要

【タイトル】「HUMAN AND NATURE」

【会 期】2026 年 9 月 5 日（土）～10 月 18 日（日）※会期中、休館日なし

【開催時間】11:00～20:00（最終入館 19:30）

【会 場】東京ミッドタウン日比谷 6 階ホール

【住 所】東京都千代田区有楽町 1-1-2 東京ミッドタウン日比谷

【入 場 料】オンライン券:一般 2,000 円/大学生・専門学生 1,500 円/中高生 1,000 円/小学生以下無料
当日券:一般 2,200 円/大学生・専門学生 1,600 円/中高生 1,100 円/小学生以下無料

【チケット販売】2026 年 7 月 22 日（水）より各種プレイガイドにて販売開始（予定）

〔取扱〕MSP チケット / ArtSticker / ART PASS / アソビュー / ローソンチケット / Peatix

【主 催】三井不動産株式会社

【監修・企画】秋元雄史、Yuichi Hirako Studio

【認 定】ARTE（東京国際文化芸術祭）パートナープログラム



※なお、本イベントは「ARTE（東京国際文化芸術祭）パートナープログラム」の認定事業として展開いたします。

【公式サイト】<https://www.hibiya.tokyo-midtown.com/humanandnature.yuichihirako/>

東京ミッドタウン日比谷について



東京ミッドタウン日比谷は、オフィス、ショップ、レストラン、映画館などの施設が集まった複合施設です。映画・演劇の街として知られる日比谷エリアの上質な文化や、日比谷公園が隣接する自然豊かな環境を活かし、未来志向の新たな体験や、お客様の感性を刺激する新たな価値の提供を目指しています。<https://www.hibiya.tokyo-midtown.com/jp/about/>

三井不動産グループのサステナビリティについて

三井不動産グループは、「共生・共存・共創により新たな価値を創出する、そのための挑戦を続ける」という「&マーク」の理念に基づき、「社会的価値の創出」と「経済的価値の創出」を車の両輪ととらえ、社会的価値を創出することが経済的価値の創出につながり、その経済的価値によって更に大きな社会的価値の創出を実現したいと考えています。

2024 年 4 月の新グループ経営理念策定時、「GROUP MATERIALITY（重点的に取り組む課題）」として、「1. 産業競争力への貢献」、「2. 環境との共生」、「3. 健やか・活力」、「4. 安全・安心」、「5. ダイバーシティ&インクルージョン」、「6. コンプライアンス・ガバナンス」の6つを特定しました。これらのマテリアリティに本業を通じて取組み、サステナビリティに貢献していきます。

【参考】

- ・「グループ長期経営方針」 <https://www.mitsufudosan.co.jp/corporate/innovation2030/>
- ・「グループマテリアリティ」 https://www.mitsufudosan.co.jp/esg_csr/approach/materiality
- ・「& EARTH for Nature」 <https://www.mitsufudosan.co.jp/business/development/earth/for-nature/>

また、2025 年 4 月に、街づくりにおける環境との共生宣言「& EARTH for Nature」を策定し、「環境」を自然と人・地域が一体となったものと捉え、豊かな「環境」を広げ、未来の世代へつなぐ街づくりを推進しています。本宣言における重点課題として、「緑を守り育む」「水の魅力を生かす」「生態系を豊かにする」「地域の想いをつなぐ」「自然資源を循環させる」の5つを定めています。本リリースの取り組みは、「& EARTH for Nature」における重点課題の1つに貢献しています。



地域の想いをつなぐ